

# 共同参画



## 内閣府

### Special Feature 1

#### 特集 1 / 第 5 回国際女性会議 WAW!/W20

今年は WAW! と W20 の同時開催。

今回の議論・提言は、日本が議長国を務める G20 大阪サミットへ

### Special Feature 2

#### 特集 2 / 企業におけるダイバーシティ経営の推進にむけて



## 共同参画に寄せて

foreword

### WAW!／W20:国内施策への反映を期待



12時間に及ぶ議論を経て「W20コミュニケ」が完成したのは、午前1時。安倍総理に手交する8時間前でした。急いで日本語の仮訳を作り、仮眠を取り、会場に戻ると、過去のWAW!とは異なる熱気が満ちていました。今回は、W20との同時開催ということもあり、より一層、国際的な政策枠組みや最新動向を反映した内容になったと思います。持続可能な開発目標(SDGs)、ESG投資、「ジェンダー平等は持続可能で公正な経済・社会の要件」と謳った2018年のG7とG20の首脳宣

言と、それらに含まれた「ケアワークの再分配」「賃金格差の解消」「暴力の根絶」「デジタル領域での教育・参画促進」などの合意事項が多角的に議論されました。

私は、「地方活性化と雇用創出、そのためのリーダーシップ」と「ジェンダー投資：世界の新潮流」に登壇しました。前者では、地方が直面する人口減少とその要因である若年女性の流出をジェンダー問題として捉え、職場や地域の「ジェンダーギャップの解消」に乗り出した兵庫県豊岡市の中貝市長のお話が反響を呼びました。後者では、ジェンダー視点から企業の中長期的な成長見込みやリスクを分析して投資判断に活かす「ジェンダー投資」が大変な速さ・規模で拡大しており、評価指標には男女の育休取得率、セクハラ対策を含む安全な労働環境づくり、サプライヤーとして女性が経営する企業とどれくらいの取引があるか(女性起業家育成への貢献)なども含まれるという報告に会場が湧きました。地方や企業での「女性活躍」にはジェンダー平等の推進が欠かせないこと、また、そのようなビジョンを政策や事業に確実に落とし込むリーダーの存在が日本社会のサステナビリティ(持続可能性)の向上にも不可欠であることを再認識しました。

第5回WAW!／W20は、「国際社会」と「日本」を繋ぐ貴重な場でした。ここで生まれた学びは、日本国内の全ての女性・女の子に還元されなければなりません。専門家や実務家による真摯な議論の成果である数々の提言が、近く改訂される「まち、ひと、しごと創生総合戦略」「SDGs実施方針」といった国内政策や、ILOの仕事の世界における暴力とハラスメントを禁止する条約の批准に向けた議論に反映されることを期待します。次のWAW!、W20で、具体的な成果を国際社会に報告・発信したいですね。

W20運営委員、WAW!アドバイザー  
特定非営利法人Gender Action Platform 理事  
大崎麻子  
Asako Osaki



## 目次

Contents

|                 |                |                                                     |         |
|-----------------|----------------|-----------------------------------------------------|---------|
| Special Feature | 特集1            | 第5回国際女性会議 WAW!/W20                                  |         |
|                 |                | 今年はWAW!とW20の同時開催。<br>今回の議論・提言は、日本が議長国を務めるG20大阪サミットへ | page 02 |
| Special Feature | 特集2            | 企業におけるダイバーシティ経営の推進にむけて                              |         |
|                 |                |                                                     | page 06 |
| Topics          | 行政施策トピックス1     | 諸外国における政治分野への女性の参画に関する調査研究                          |         |
|                 |                |                                                     | page 08 |
| Topics          | 行政施策トピックス2     | 女性が輝く先進企業表彰 ～受賞企業のその後の取組～                           |         |
|                 |                |                                                     | page 10 |
| News & Info     | ニュース&インフォメーション | G7男女共同参画担当大臣会合に中根内閣府副大臣が出席しました。                     |         |
|                 |                |                                                     | page 12 |



## 第5回国際女性会議 WAW!/W20

今年はWAW!とW20の同時開催。

今回の議論・提言は、日本が議長国を務めるG20大阪サミットへ

外務省総合外交政策局女性参画推進室

WAW!は、国際女性会議WAW!、英語でWorld Assembly for Womenの略称で、「ワウ!」と呼ばれています。日本の女性分野に関する取り組みを国内外に発信するため、安倍総理大臣のイニシアティブで2014年に1回目のWAW!が開催されました。WAW!には、様々な国、地域、国際機関からトップ・リーダーが参加し、日本及び世界における女性のエンパワーメント、女性の活躍促進のための取り組みを議論します。第5回WAW!は「WAW! for Diversity」をテーマに、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、3月23日から24日にかけてW20(Women20)の会合と同時開催されました。

W20とは、G20のエンゲージメント・グループのひとつであり、女性に関する政策提言をG20に向けて行う組織体です。2014年G20ブリスベン・サミットで採択されたコミットメント「G20は2025年までに就労率の男女差を25%縮小する」の確実な履行を第一の目標とし、女性の社会進出がすなわち経済的エンパワーメントであるとのSDGsの考え方を共有しています。2019年は日本が議長国を務め、「Closing the Gender Gap for New Prosperity」をテーマに、コミュニケの策定及び手交、第5回国際女性会議WAW!/W20の開催に取り組みました。

### 3月23日 基調講演等

冒頭の開会挨拶では、安倍晋三内閣総理大臣から、女性活躍推進のための国内外の取り組みについて触れ、女性のエンパワーメントについて、参加者と共に発信し、世界を変えるための「行動」につなげて行きたい旨を述べました。次にW20運営委員会の目黒依子及び吉田晴乃両共同代表より、安倍総理に対し、W20コミュニケが直接手交されました。



安倍内閣総理大臣にW20コミュニケを手交する  
吉田及び目黒W20運営委員会共同代表

基調講演では、マララ・ユスフザイ・マララ財団共同創設者が、現在の活動に至った経緯及びSTEM分野における女性教育の重要性について触

れ、女子教育の普及のため世界の指導者たちが声をそろえていくべきである旨を強調しました。次にミCHEL・バチエレ国連人権高等弁務官は、固定観念に基づく女性への差別が女性の能力発揮の妨げになっている現状に触れ、あらゆる分野において女性の参画を促進し、エンパワーメントを進めていく重要性を強調しました。続く特別挨拶では、ガブリエラ・ミケティ・アルゼンチン共和国副大統領が、昨年アルゼンチンにて開催されたW20及びG20サミットにおける成果について触れるとともに、教育及び雇用の機会均等、教育の質の向上等の重要性について述べました。



マララ・ユスフザイ・マララ財団共同創設者



3月23日から24日に東京で開催された第5回国際女性会議WAW!/W20について報告します。



ミチエル・パチェレ国連人権高等弁務官



ガブリエラ・ミケティ・アルゼンチン共和国副大統領

### 3月23日 パネル・ディスカッション

23日は3つのパネル・ディスカッションが実施され、各議論において女性のエンパワーメントの重要性が指摘されました。

パネル・ディスカッション「技術革新と変容する社会における人材育成」では、技術革新が人々の暮らし方や働き方に急速な変化をもたらす中で、そうした技術革新から取り残されないための人材育成のあり方や、STEM(科学、技術、工学及び数学)の分野における女性の教育の重要性等について議論されました。企業、大学、国家政策等における具体的な取り組み事例として、ブルガリアでは民間企業の協力を得てITエンジニアになる女子生徒の数で世界1位を獲得したことが紹介された他、今後は専門分野のみでなく幅広い知識を持った人材育成が必要であり、娘が科学分野へ進むことへのためらいをなくすことを目的とした保護者を巻き込んだ大学の取り組みが紹介されました。

WAW!パネル・ディスカッション「地方活性化と雇用創出、そのためのリーダーシップ」では、片山さつき内閣府特命担当大臣も登壇し、地方活性化のカ

ギである仕事、暮らし、地域のリーダーシップの3つの要素について、地方で雇用や仕事を生み出すために必要な取り組みや、地方を女性が暮らしやすい場所にするために必要な取り組み、地域のリーダーが持つべき意識について議論が行われ、働きがいのある仕事の創出やテクノロジーを活用した女性のエンパワーメントの重要性、地方で暮らす価値の創出、トップが明確なビジョンを示し、関係者の力を結集することの重要性等が指摘されました。



WAW!パネル・ディスカッションの様子

W20パネル・ディスカッション「ジェンダーギャップの解消を通じた新しい成長のカタチ：女性のエンパワーメントを実現するガバナンスとは」では、ジェンダーギャップの結果として世界で約6兆ドルの損失があること、一方、日本では女性の活躍が促進されることで賃金換算で約8兆円、GDPに約3兆円の貢献があるという試算などが紹介され、ジェンダーギャップの解消による経済効果の大きさが示されました。さらに、アンコンシャスバイアスなどの意識や社会規範を克服する取り組み、更なる成果を上げるための政府・企業それぞれで有効なメカニズムなどについて議論がされました。

### 3月23日－24日 分科会パネル・ディスカッション およびスペシャル・セッション

23日から24日にかけて、8つのテーマの下で分科会パネル・ディスカッションおよびスペシャル・セッションが行われ、活発な議論を通じ、登壇者からは具体的な提案が出されました。

**WAW!分科会「多様性を育てるメディアとコンテンツ」**では、固定観念の形成を防ぎ、多様性を育てるためのメディアやコンテンツのあり方について討論がなされ、優良事例として、人々のもつ固定観念を問いかけるテレビコマーシャルが紹介されました。メディアやコンテンツには人々の認識を変える力があることを再認識し、メディア制作に携わる人々がジェンダーや多様性に対するリテラシーを向上させていくことの重要性が指摘されました。

**WAW!分科会「女性の参画と紛争予防・平和構築・復興」**では、紛争経験国の現場は厳しいため国際社会の協力が必要という点が指摘されました。例えばイラクでは多くの被害者女性たちの精神被害は甚大で当事国のみでは対応できない規模であり復興には手当が必要です。また、新たなテロリスト集団を生まないために、ISISの家族まで罰するのではなく支援すべきという指摘もありました。シリアでは女性を和平交渉の場に参画させるには交渉の場に行けるよう交通費の支給や子どもの預かりなど具体的支援が実を結びました。男性リーダーを巻き込むことや、政府と市民社会が協力することにより平和構築・復興への女性の参画を施し、平和を確実なものとする事が述べられました。

**W20分科会「女性起業家が創る新しい市場価値」**では、行動指向型の研究、エビデンスに基づく政策などを、40年前にホワイトハウスに働きかけ、女性起業の障害を克服していった実例など、米国における女性起業支援のエコシステムが紹介されました。続いて、社会起業を含む女性起業の経済的インパクト、女性起業の支援に役立つ取り組み等について、各国で既に明らかになっていることをやり直す手間を省くため、成功事例を共有するプラットフォームが有効であるといった意見が出されました。

**W20スペシャル・セッション「ジェンダー投資：世界の新潮流」**では、ジェンダー投資の専門家が参集し、より多くの資金をジェンダー平等と女性のエンパワーメントに向けたための方策が議論されました。具体的には、投資家、企業、メディアの関心を高めるための戦略、ジェンダー平等の実現に向けて金融機関が果たせる役割やその役割を通じて金

融機関が得られるメリット、また、ジェンダー投資を実行するための具体的なツール等についても議論が及びました。

**WAW!分科会「多様性を成長に：企業経営や職場環境」**では、経営者や役員が多様であると、企業経営の視点が複数になり、思考に柔軟性が生まれ、リスク管理の点からも有用であるため、多様性は企業の成長に繋がることが最初に再確認されました。続いて多様性の高い組織を運営する方策として、女性リーダーの増加、終身雇用等の日本独自の企業文化の撤廃、政府による福祉政策の後押しやハラスメントへの対策が提案されました。

**WAW!分科会「家族の未来：頼る・活かす・分かち合う」**では、日本では働く夫と専業主婦と二人の子どもという4人世帯が「標準世帯」と長く認識されてきましたが、現在は全体の5%にも満たず、高齢者夫婦世帯と単身世帯が増え、事実婚や同性婚など家族の実態は多様化しているため社会・法制度の見直しが必要なこと、特に日本社会の課題である少子化は男女の賃金格差の解消無しには解決しないことが指摘されました。また、家事育児は女性の主担当ではなく「分担する」という男女平等の意識を幼少期から育むことが必要であり、そのための教育の必要性と重要性が述べられました。



WAW!分科会の様子

**W20分科会「デジタル時代のジェンダー平等」**では、女性は男性よりも12%インターネットへのアクセスが低い状況をはじめ、テクノロジー業界におけるリーダーシップ、開発プロセス等、デジタルに関連する様々なジェンダーギャップの現状について、さらにその背景には教育やインフラ等複雑な要因があることが挙げられました。また、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消やオンライン



# 第5回国際女性会議 WAW!/W20

今年はWAW!とW20の同時開催。

今回の議論・提言は、日本が議長国を務めるG20大阪サミットへ

外務省総合外交政策局女性参画推進室

ハラスメントの根絶に向けて必要な取り組み等についても議論されました。

W20スペシャル・セッション「患者や介護者としての女性の就業：健康格差の是正による男女平等と労働参加の向上」では、冒頭の基調講演で、障害を持つ女性が健常者と対等に職場で活躍する「ノーマライゼーション」の概念が紹介された後、パネル・ディスカッションでは、障害を持つ女性、介護を担う女性が職場での機会を確保し、オープンに話せるインクルーシブな職場環境の構築に向けた取り組みについて議論がされました。

3月24日

パネル・ディスカッション、  
クロージング・セッション等

特別ゲストインタビューでは、伊達公子テニスプレーヤー/JICAオフィシャルサポーターから、人身取引被害者の支援能力向上プロジェクトなど脆弱な立場に置かれた女性への支援の重要性が述べられました。

W20パネル「労働におけるジェンダーギャップを解消する：ハッピーなワークとライフの実現へ」では、労働におけるジェンダーギャップ解消について、労働参加率だけでなく、賃金格差の是正やリーダーシップ層への女性の登用なども含めた向けた取り組みについて議論しました。企業側の取り組みとしては、ジェンダーバイアスを取り除いた評価基準の整備、多様なスタイルを許容するリーダーシップの定義を見直すこと、社会全体や個人で取り組むこととしては、旧来型の社会的規範を打破し男女ともに職場でも家庭でも、それぞれの価値を提供することの重要性などが挙げられました。



W20 パネル・ディスカッションの様子

クロージング・セッション冒頭では、西村康稔内閣官房副長官が、2日間の議論の内容を総括しました。次に各国から参加した女性外相と阿部俊子外務副大臣が、各国での女性のエンパワーメントのための取り組みや、女性外相として取り組んでいる平和構築への試みについて紹介し、和やかな雰囲気の中高校生からの質問にも回答しました。続いて本年の議長国である日本のW20を代表して目黒依子、吉田晴乃両共同代表が、昨年議長国のアルゼンチンを代表してスサナ・バルボ前議長が、来年議長国のサウジアラビアを代表してサルマ・アルラシッド代表が、「トロイカ」としてスピーチをつなぎました。閉会挨拶では、安倍昭恵内閣総理大臣夫人が、WAW!/W20の議論を通じて得た「ひらめき」の共有と実践の重要性を述べました。



安倍総理夫人による閉会挨拶

後日、第5回WAW!の成果文書として「WAW!参加者からの提言に基づく総括」が取り纏められ、下記ウェブサイトで公表されました。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000460247.pdf>

またW20のコミュニケも下記ウェブサイトで閲覧できます。

[https://w20japan.org/pdf/w20\\_communique\\_jp.pdf](https://w20japan.org/pdf/w20_communique_jp.pdf)

当日の様子は下記ウェブサイトの動画で見られます。

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr\\_ha/page22\\_003059.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/hr_ha/page22_003059.html)



## 1. 新・ダイバーシティ経営企業100選 及び100選プライム

経済産業省では、平成24年度より、多様な人材の能力を活かして、イノベーションの創出、生産性向上等の成果を上げている企業を表彰してきました。平成30年度は、105社の応募の中から24社(大企業13社、中小企業11社)を表彰しました(表1)。今年度表彰された企業には、人材不足の解消や専門性を持った人材の確保に向け、シニアの活躍に着目し、シニア社員を対象にした社内公募システムの導入や、ライフスタイルに合わせて選択できる就業制度の導入など、特徴的な取り組みが見られました。

また、平成29年度からは、新たに過去の受賞企業を対象に、特に先駆的に全社的、継続的取り組みを行う企業を「100選プライム」として選定しており、平成30年度は、21社の応募の中から、SCSK株式会社、株式会社丸井グループの2社を選定しました。



(表1) 平成30年度 新・ダイバーシティ経営企業100選

|                 |                    |      |
|-----------------|--------------------|------|
| 建設業(3社)         | 増木工業株式会社(★)        | 埼玉県  |
|                 | 住友林業株式会社           | 東京都  |
|                 | 向洋電機土木株式会社(★)      | 神奈川県 |
| 製造業(8社)         | 株式会社長島製作所(★)       | 岩手県  |
|                 | 本田技研工業株式会社         | 東京都  |
|                 | 株式会社アトム精密(★)       | 東京都  |
|                 | 鍋屋バイテック株式会社        | 岐阜県  |
|                 | アルプススチール株式会社(★)    | 愛知県  |
|                 | 株式会社島津製作所          | 京都府  |
|                 | 日立造船株式会社           | 大阪府  |
| 情報通信業(1社)       | 株式会社エフセディ          | 大阪府  |
|                 | 日本ユニシス株式会社         | 東京都  |
| 運輸業、郵便業(2社)     | 西日本旅客鉄道株式会社        | 大阪府  |
|                 | 平成レグス株式会社(★)       | 香川県  |
| 卸売業、小売業(4社)     | 株式会社東京堂(★)         | 青森県  |
|                 | 三共精機株式会社(★)        | 京都府  |
|                 | 株式会社はるやまホールディングス   | 岡山県  |
|                 | スリー・アールシステム株式会社(★) | 福岡県  |
| 金融業、保険業(2社)     | 三井住友信託銀行株式会社       | 東京都  |
|                 | 株式会社東邦銀行           | 福島県  |
| 宿泊業、飲食サービス業(1社) | 株式会社中沢ヴィレッジ(★)     | 群馬県  |
| 医療、福祉(1社)       | 株式会社アクタガワ          | 静岡県  |
|                 | アデコ株式会社            | 東京都  |
| サービス業(2社)       | 株式会社アンサーノックス(★)    | 山梨県  |

(★): 中小企業(従業員数300人以下)

## 2. なでしこ銘柄

平成24年度より、東京証券取引所と共同で、女性活躍推進に優れた上場企業を「中長期の成長力」のある優良銘柄として投資家に紹介することで、各社の取り組みの加速化を図っています。

平成30年度は、「コーポレートガバナンス・コード」「ダイバーシティ2.0行動ガイドライン」の改訂、「投資家と企業の対話ガイドライン」の新設を受け、なでしこ銘柄選定において「女性取締役1名以上」をスクリーニング要件へ追加し、役員層での女性活躍に注目して「なでしこ銘柄」42社を選定しました(表2)。さらに、女性活躍推進に優れた企業をより幅広い視点で評価するため、「準なでしこ」※を設定し(表3)、なでしこ銘柄の次点企業を業種枠に関係なく選定しております。



(表2) 平成30年度 なでしこ銘柄1

| コード  | 企業名             | 業種         |
|------|-----------------|------------|
| 2229 | カルビー株式会社        | 水産・農林業、食料品 |
| 2503 | キリンホールディングス株式会社 |            |
| 2802 | 味の素株式会社         |            |
| 2914 | 日本たばこ産業株式会社     |            |
| 1605 | 国際石油開発帝石        | 鉱業         |
| 1925 | 大和ハウス工業株式会社     | 建設業        |
| 3401 | 帝人株式会社          | 繊維製品       |
| 3880 | 大王製紙株式会社        | パルプ・紙      |
| 4183 | 三井化学株式会社        | 化学         |
| 4631 | DIC株式会社         |            |
| 4503 | アステラス製薬株式会社     | 医薬品        |
| 5334 | 日本特殊陶業株式会社      | ガラス・土石製品   |
| 5802 | 住友電気工業株式会社      | 非鉄金属       |
| 5938 | 株式会社LIXILグループ   | 金属製品       |
| 6367 | ダイキン工業株式会社      | 機械         |
| 6594 | 日本電産株式会社        | 電気機器       |
| 6645 | オムロン株式会社        |            |
| 6724 | セイコーエプソン株式会社    |            |
| 6856 | 株式会社堀場製作所       | ゴム製品、輸送用機器 |
| 5108 | 株式会社ブリヂストン      |            |
| 7701 | 株式会社島津製作所       | 精密機器       |



我が国の経済成長のためには、女性、外国人、高齢者、チャレンジド(障がい者)など、多様な人材が能力を最大限発揮し、企業の価値創造に参画していくことが必要です。経済産業省では、多様な人材が活躍する企業を後押しするために、次のような取り組みを実施しています。

### 3. 新・ダイバーシティ経営企業100選表彰式・ なでしこ銘柄発表会

平成31年3月22日に「新・ダイバーシティ経営企業100選表彰式・なでしこ銘柄発表会」を開催し、平成30年度の表彰・選定企業を紹介するとともに、先進的な取り組みを広く発信するため、「100選プライム」選定企業の代表者として、SCSK株式会社代表取締役 会長執行役員 最高経営責任者 田淵 正朗氏\株式会社丸井グループ代表取締役社長 代表執行役員 青井 浩氏に企業におけるダイバーシティ経営の取り組みに関し、講演を行っていただきました。

講演では、ダイバーシティ経営を会社全体で実践する際のポイントに加え、自社の特徴的な取り組みや苦勞した点等を紹介いただくとともに、経営者の視点から、ダイバーシティ経営による意義や成果についてお話いただきました。表彰式の詳細な概要は以下からご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/kigyol00sen/ceremony/index.html>

#### 【参考URL】

##### ●新・ダイバーシティ経営企業100選

(表彰企業の取り組み事例を御覧いただけます)

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/kigyol00sen/>

##### ●なでしこ銘柄

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/nadeshiko.html>

##### ●ダイバーシティ2.0行動ガイドライン

(平成30年6月8日改訂)

<https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/data/20180608001.html>

※「準なでしこ」は、スクリーニング要件として、「取締役、または監査役、または執行役員のいずれかの役職に女性が1名以上いること」を求めています。

(表2) 平成30年度 なでしこ銘柄2

| コード  | 企業名                  | 業種         |
|------|----------------------|------------|
| 7862 | トッパン・フォームズ株式会社       | その他製品      |
| 9531 | 東京ガス株式会社             | 電気・ガス業     |
| 9005 | 東京急行電鉄株式会社           | 陸運業        |
| 4307 | 株式会社野村総合研究所          |            |
| 9437 | 株式会社NTTドコモ           | 情報・通信業     |
| 9719 | SCSK株式会社             |            |
| 2768 | 双日株式会社               | 卸売業        |
| 8252 | 株式会社丸井グループ           |            |
| 8267 | イオン株式会社              | 小売業        |
| 8316 | 株式会社三井住友フィナンシャルグループ  |            |
| 8331 | 株式会社千葉銀行             | 銀行業        |
| 8411 | 株式会社みずほフィナンシャルグループ   |            |
| 8601 | 株式会社大和証券グループ本社       | 証券、商品先物取引業 |
| 8630 | SOMPOホールディングス株式会社    |            |
| 8686 | アフラック・インコーポレーテッド     | 保険業、その他金融業 |
| 8750 | 第一生命保険株式会社           |            |
| 8766 | 東京海上ホールディングス株式会社     |            |
| 3465 | ケイアイスター不動産株式会社       | 不動産業       |
| 8905 | イオンモール株式会社           |            |
| 2375 | スリープログループ株式会社        | サービス業      |
| 6183 | 株式会社ベルシステム24ホールディングス |            |

(表3) 平成30年度 準なでしこ

| コード  | 企業名                                       |
|------|-------------------------------------------|
| 2502 | アサヒグループホールディングス株式会社(水産・農林業、食料品)           |
| 2579 | コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングス株式会社(水産・農林業、食料品)   |
| 2897 | 日清食品ホールディングス株式会社(水産・農林業、食料品)              |
| 4452 | 花王株式会社(化学)                                |
| 4578 | 大塚ホールディングス株式会社(医薬品)                       |
| 6504 | 富士電機株式会社(電気機器)                            |
| 7912 | 大日本印刷株式会社(その他製品)                          |
| 9503 | 関西電力株式会社(電気・ガス業)                          |
| 4739 | 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(情報・通信業)                |
| 8056 | 日本ユニシス株式会社(情報・通信業)                        |
| 9613 | 株式会社NTTデータ(情報・通信業)                        |
| 8002 | 丸紅株式会社(卸売業)                               |
| 8031 | 三井物産株式会社(卸売業)                             |
| 3382 | 株式会社セブン&アイ・ホールディングス(小売業)                  |
| 9983 | 株式会社ファーストリテイリング(小売業)                      |
| 8308 | 株式会社りそなホールディングス(銀行業)                      |
| 8309 | 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(銀行業)                |
| 8416 | 株式会社高知銀行(銀行業)                             |
| 8604 | 野村ホールディングス株式会社(証券、商品先物取引業)                |
| 8439 | 東京センチュリー株式会社(保険業、その他金融業)                  |
| 8591 | オリックス株式会社(保険業、その他金融業)                     |
| 8725 | MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社(保険業、その他金融業) |

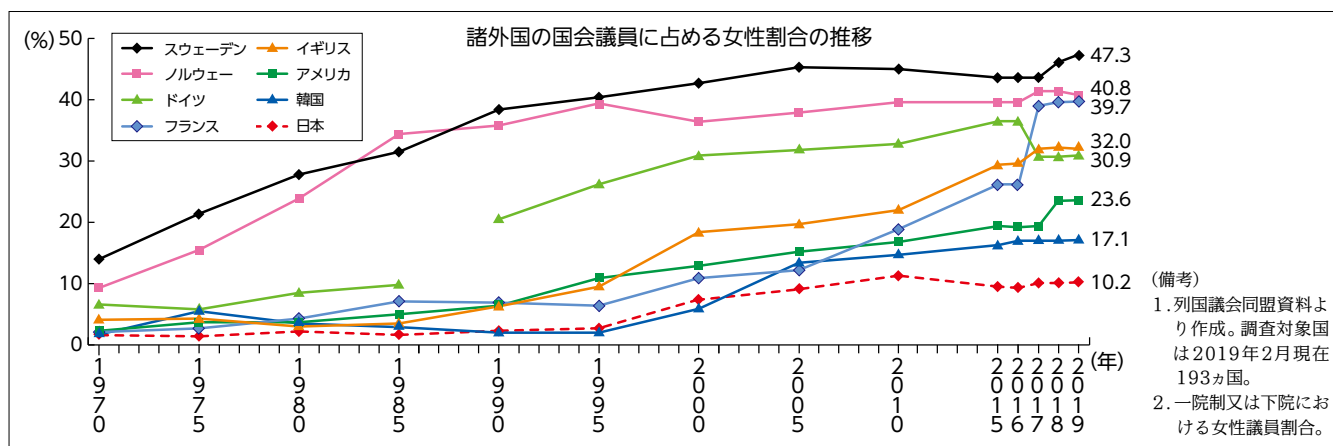
# 諸外国における 政治分野への女性の参画に関する調査研究 ～イギリス・フランスの取組に学ぶ～

内閣府男女共同参画局推進課

## 1. 概況

日本の政治分野への女性の参画状況は国際的に見ても遅れており、例えば、衆議院議員に占める女性の割合は約10%で、世界193か国中164位となっています。

一方、イギリス・フランスは、1980年代までは女性議員比率に日本とほとんど差はありませんでしたが、現在の女性議員比率はイギリス約32%、フランスは約40%となっており、様々な取組の結果、政治への女性参画が拡大しています。



## 2. 女性議員を増やすという「政治意志」

フランス共和国前進では、2017年の国民議会議員選挙において党首(マクロン大統領)が勝てる見込みのある選挙区に女性を割り当てる意志があることを強調するビデオメッセージを出した結果、オンライン公募による女性の候補者が増加するとともに、女性当選者も増加しました。

イギリス労働党では、現職議員が引退を予定しているなどの「当選の可能性の高い」選挙区において、議員の候補者を選出する最終候補者リストを女性に限定するという仕組み(女性指定選挙区)が党執行部による強力なリーダーシップにより導入され、女性議員の増加に大きく寄与しています。

このように政党の党首や執行部が女性議員を増やすという「政治意志」を持ちリーダーシップを発揮することは、女性が手を挙げやすくし、実際に女性議員を増やすことにつながっているといえます。

## 3. 候補者選定過程の透明化

イギリス保守党は、国会議員になるためのステッ

プ(応募・相談→申請書の提出→適性審査→実務テストや面接)をHPで丁寧に紹介しています。候補者選定過程を透明化することで政治家としてのキャリアの見通しがよくなり、敷居が高いと思われがちな政治の世界に足を踏み入れやすくなると考えられます。

## 4. 議員養成トレーニングの実施

イギリス労働党では、参加費無料で5か月間という長期間のトレーニングを実施しており、その中には、女性同士のネットワークを構築するために合宿も導入しています。また、イギリス保守党では女性候補者の発掘・支援・トレーニングを目的とする党内組織(Women2Win)がスピーチやメディア対応などのテーマ別のコース研修(2か月で1コース)を実施しています。

このように政治家になるために必要な資質やスキルなどの能力開発の機会を提供することで多様な人材が政治に参画することを促すことにつながると考えられます。

「男女の候補者の数ができる限り均等となること」を目指すことを基本原則とする「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が平成30年5月23日に施行。法律の成立も踏まえ、内閣府男女共同参画局では、日本における政治分野の男女共同参画のための取組の参考となる情報を得ることを目的に、平成30年度にイギリス・フランスを主な対象として、諸外国の取組や動向を調査しました。その調査から得られたイギリス・フランスにおいて有効であったと考えられる取組や国際的な動向等を紹介します。

## 5. 女性の声の党内組織への反映

イギリス労働党では1990年代より党内役職におけるクォータ制を実施しています。また、イギリス保守党では、前述のWomen2Winが、女性議員同士が党内で連帯していく活動基盤として機能しており、こうした取組により党内組織に女性の声を反映することにつながっています。

## 6. 議員の働き方改革を進める

列国議会同盟が2012年に採択した「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」では、議員活動と家庭生活の両立支援のため、審議開始時刻を早めたり、遅い時間の議決を避けたりすることや学校のスケジュールに審議日程を合わせる、育児休暇を議会欠席の正当な理由として認めることなどの具体策が提示されています。

イギリス議会では、実際に審議時間の変更や議会内への保育所の設置などの議会改革が行われ、議員活動と家庭生活の両立が可能となるような環境が整備されています。

## 7. 政治分野のハラスメント・暴力の撤廃

列国議会同盟が2016年に各国議員にハラスメント等の実態をヒアリングした結果、女性議員の約8割が精神的暴力(うち約65%が屈辱的な性的又は性差別的な発言)を、約2割が性的暴力を受けたと回答しており、政治分野におけるハラスメントや暴力は、国際的にも問題となっています。列国議会同盟はこうした状況に対して、苦情処理手続きの確立(機密性のある相談窓口の確保)やセクシュアル・ハラスメントへの議会行動規範の確立、研修の実施等の具体策を提言しています。

## 8. 自己点検、モニタリング

イギリスでは、2018年に女性参政権100周年に際して、先進国として初めて列国議会同盟による監

査を受け入れています。また、議会に設置されている「女性と平等委員会」が必要に応じて、調査や有識者・政党関係者のヒアリングを実施しており、定期的にレポートを発行しています。こうした取組が政党やメディアの理解を促進させ、各主体の取組を促進することにつながると考えられます。

## 9. 政党助成金の在り方

民主主義・選挙支援国際研究所によると、世界30か国で女性議員を増やすことを目的とする公的な政治資金(政党助成金)の配分の仕組みが導入されており、大別すると、

- ・事前に設定した女性比率を超えた場合に全額又は一部を受け取れる仕組み
- ・候補者や議員の女性比率に応じて配分率を増減させる仕組み
- ・女性の政治参画を高める目的など、使途制限を課す仕組み

があります。

フランス国民議会選挙では、各政党の選挙候補者の男女差が2%以上の場合に政党助成金を減額する仕組みが導入され、女性議員の増加に寄与しています。

内閣府男女共同参画局では、引き続き政治分野における男女共同参画の推進に向けて国内外の実態調査等を進めていきます。

報告書の詳細をご覧になりたい方は、内閣府男女共同参画局WEBサイトをご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/research/kenkyu/index.html>



※本稿掲載の女性議員比率及び順位は、列国議会同盟(Inter-Parliamentary Union ; IPU)の“Women in national parliament”による2019年2月現在の下院又は一院の数値。



## 2

# 女性が輝く先進企業表彰 ～受賞企業のその後の取組～

内閣府男女共同参画局総務課

女性が輝く  
先進企業  
2015

**井村屋グループ株式会社**  
個人の成長を促す「プラス1」

個人の成長の先に企業成長がある事を踏まえ、グループの特色経営を進める為に男女差なく公平に実力養成の機会を創る事を推進しています。3方向のバランス(①経営者支援②ハード面の制度充実③ソフト面の個人力量醸成)を重視し、経営者の個人面談、企業内託児所の運営(2ヵ所)、子ども手当増設、女性キャリア研修、パパママ相談室設置等を実行中です。



企業内託児所 アイアイキッズルーム

働き方改革では個人の時間に仕事を合わせる柔軟な対応、働き方ハンドブック作成にて意識改革を促し、現在育児休業復職率は100%です。2015年には総合職などの3職群を1本化し、自己啓発通信教育受講者は、従来の年間300人平均が制度改定後600人となり今も同人数で推移し「学習する組織」に風土が変わりました。自分の得意とする分野を更に伸ばす「プラス1」を合言葉に資格取得支援も進め、キャリアカウンセラー、産業カウンセラー等公的資格取得者や実務業務での資格取得者が各部門で活躍しています。

管理職は実力主義を主体に育成した結果、2010年女性管理職は2%でしたが現在は7%となりました。管理職一歩手前の主任は女性が40%を占めており、2020年度目標の20%へ準備ができています。本年女性社長が誕生しましたがシェアドリーダーシップにて率先垂範する姿は、社員が目指すロールモデルとなっています。

女性が輝く  
先進企業  
2017

**株式会社東邦銀行**  
“職員総活躍”の実現に向けて

東邦銀行は、「人を大事にする経営」を基本に、職員総活躍の実現に向け、女性活躍推進を経営の重要施策として様々な取組を進めています。

平成29年(2017年)の受賞後も、育児・介護休業からの復職支援を目的とした「短日勤務制度」の導入、不妊治療にも利用できる「家族あんしん休暇」や地域活動への参加のための「地域貢献休暇」の創設など制度の充実に加え、3ヵ所目の事業所内保育施設オープンやテレワーク、副業・兼業など多様なニーズに対応した環境づくりに取り組んできました。

また、地域金融機関として福島県や金融業界の女性活躍の加速に向け、経営トップが金融業界や地域のセミナー、IRにおいて女性活躍推進の重要性や効果について積極的に発信しています。2017年には、福島労働局と包括連携協定を締結し、共同でのプロジェクト活動など、県内企業の働きやすい職場づくりに向けた取組をより一層強化しています。

女性活躍推進に取り組むことによって企業イメージが高まり、応募者の増加など優秀な人材の採用にもつながっています。

今後も引き続き、様々な場面で活躍する女性のライフとキャリアを応援するとともに、多様な人材が持てる力を最大限発揮し活躍できる組織づくりを進めてまいります。



日本銀行「金融高度化セミナー」にてトップが講演

## Report

女性が輝く先進企業表彰は、女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取組と実績、並びにそれらの情報開示において顕著な功績があった企業に授与されるもので、平成26年度より実施されています。先進企業としてさらに女性活躍推進を加速している企業の取組についてご紹介します。

女性が輝く  
先進企業  
2017

### ヒューリック株式会社 女性管理職比率20%に向けて

性別を問わず社員一人ひとりが個性や多様性に富んだ実力を発揮することが重要であるとの考えのもと、特に女性のキャリア開発に取り組んできた当社は、「2020年までに女性管理職比率20%」という目標達成のため、受賞後(2018年以降)も様々な社内改革を行っています。

第一に、管理職の意識改革を目的としたマニュアル作成や研修に力を入れました。

産休・育休の諸手続きおよび関連する福利厚生制度をまとめた当社独自のマニュアル『パパ・ママ子育て支援ガイド』について、所属長向けのマニュアルを新規作成し、子育てと仕事を両立する社員への理解・サポートの一助となるよう努めました。

また、「ダイバーシティマネジメント」に関する管理職向け研修への参加を義務付け、すべての管理職がダイバーシティに関する最新の情報に触れる場を提供しました。



2018年の管理職向けダイバーシティ研修の様子

第二に、育児を行う女性の支援制度の拡充に力を入れました。

『育休復帰者向けメンター制度』を新設し、育休明け従業員の不安払拭・スムーズな復帰のサポート体制を整えたほか、『在宅勤務制度』を2019年1月より試験導入し、多様な働き方を認める社内基盤づくりも行いました。

取組の結果、女性管理職比率は18.5%(前年比2.9ptアップ)となり、目標達成に向けて着実にステップアップできていると実感しています。

女性が輝く  
先進企業  
2018

### 株式会社新日本科学 産官学を交えた地元講演会が大盛況

新日本科学では、女性活躍を企業成長に欠かせない経営戦略の一つと位置づけており、受賞後も様々な取組を進めています。一例として、受賞成果を地元還元したいと企図、地域に女性活躍の輪を広げるべく「女性が輝く企業経営の紹介」と銘打った講演会を2019年3月に鹿児島市内のホテルにて主催しました。当社の取組事例紹介に加えて、鹿児島労働局、鹿児島県庁、鹿児島大学に協力を働きかけ、産官学を交えた「女性の活躍と仕事と育児・介護の両立推進、そしてこれからの鹿児島」と題したパネルディスカッションを実施したところ、平日の昼間にも関わらず会場がほぼ満席となる700名余りに聴講頂きました。



地元での産官学を交えた  
「女性が輝く企業経営の紹介」講演会の開催風景

一方、継続的な社内取組として、各事業所において女性役員が現場で働く女性社員の声を直接聞く機会を設け、様々な課題を抽出、課題解決に向けた施策を実施しています。加えて、女性目線による業務効率化を加速するために委員会を設立し、得られた忌憚のない意見を制度改革へと反映、ITシステム化を推進するなど、女性目線での業務改善を具現化しています。

今後とも受賞企業の名に相応しい会社であり続けるとともに、地元企業における女性活躍を推進する一助となるよう努力したい所存であります。



# News & Information

1

News

内閣府

## G7男女共同参画担当大臣会合に 中根内閣府副大臣が出席しました。

5月9、10日に、フランス・パリにおいて、G7男女共同参画大臣会合が開催され、中根一幸内閣府副大臣(男女共同参画担当)が出席しました。本年のG7では、「不平等との闘い」が全体的なテーマとなっており、男女平等が重要課題の一つとなっています。中根副大臣は、日本における様々な取組を紹介するとともに、男性も共に取り組んでいく重要性などについての発言を行いました。今回の会議では、政治宣言である『男女平等に関するパリ宣言』が取りまとめられました。

議長国フランスは、市民社会との対話を重視しており、Women 7(W7)の提言を受けての意見交換が行われました。なお、W7には、日本から三輪敦子氏(ヒューライツ大阪所長)が参加しています。また、G7議長国フランスが設置したジェンダーの視点から提言を行う男女平等評議会には、林陽子弁護士が参加しています。



フランス政府提供資料より(左から、独、英、米、仏、加、伊、日、EU)



左から三輪所長、中根副大臣、林弁護士

2

News

内閣府

## 令和元年度 男女共同参画週間の実施

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する国民の理解を深めることを目的とし、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までを「男女共同参画週間」として、本法の基本理念の理解を深めることを目指しています。

本週間においては、地方公共団体、女性団体その他の関係団体の協力の下に、男女共同参画社会の形成の促進を図る各種行事等を全国的に実施し、内閣府でも「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」を開催します。それに伴い、内閣府では本週間のポスターを作成し、片山大臣から発表いたしました。



### 令和元年度 男女共同参画社会づくりに向けての全国会議(概要)

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.日時    | 6月25日(火)(開場12:00 開演13:00)                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2.定員    | 1,000名(先着順、事前登録制)                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3.プログラム | <p>&lt;第1部&gt;13:00~13:50</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主催者挨拶・基調講演</li> <li>特別応援メッセージ: 若宮正子氏</li> <li>取組事例紹介</li> </ul> <p>&lt;第2部&gt;14:10~16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な選択を可能にする学びに関する調査報告</li> <li>パネルディスカッション「多様な選択を可能にする学びの充実」</li> </ul> |
| 4.会場    | 東京国際フォーラム ホールC<br>住所: 東京都千代田区丸の内3-5-1                                                                                                                                                                                                                                             |

※入場無料・託児あり・要約筆記・車椅子対応

お申込みURLはこちら

HP <https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0131.html>



### 「女子中高生夏の学校2019」 開催案内

NWECでは、女子中高生の理系進路選択を支援することを目的に「女子中高生夏の学校2019～科学・技術・人との出会い～」を開催します。キャリア講演や実験実習、学生企画のプログラムなど多彩なプログラムを通じて、「科学技術にふれ」、科学技術の世界でいきいきと活躍する女性たちと「つながり」、科学技術に関心のある仲間や先輩とともに「将来を考える」3日間です。

**期間** 8月9日(金)～11日(日)2泊3日  
**対象** 女子中高生(中3、高1～3年)100名  
**申込** 6月21日(金)17:00まで  
**会場** 国立女性教育会館(埼玉県比企郡)  
 詳細は、こちらをご覧ください。  
**HP** [https://www.nwec.jp/event/training/g\\_natsugaku2019.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_natsugaku2019.html)

### 「男女共同参画推進フォーラム」 開催案内

NWECでは、「つなぐ、あらたな明日へ」をテーマに、男女共同参画の推進に向けて共に考えるフォーラムを開催します。

特別講演では、日本国憲法草案作成の際、男女平等の条項作成に携わったベアテ・シロタ・ゴードン氏について学びます。その他にもシンポジウム、多世代ワールドカフェ、公募ワークショップ・パネル展示を実施。どなたでもご自由にご参加ください。

**期間** 8月29日(木)～31日(土)  
**会場** 国立女性教育会館(埼玉県比企郡)  
 事前申込不要(宿泊申込は別途7月8日より先着順受付)  
 詳細は、こちらをご覧ください。  
**HP** [https://www.nwec.jp/event/training/g\\_forum2019.html](https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2019.html)

### 罪を犯した人の 立ち直りについて考えよう 「立ち直りフェスティバル」の開催

法務省が主唱し、今年で69回を迎えた“社会を明るくする運動”の中央広報・啓発行事として、若年層を中心とする幅広い年齢層を対象に、気軽に参加できる広報・啓発イベントを開催します。イベントを通じて、「RE:スタートできる社会」について考えてみませんか。

#### 「立ち直りフェスティバル」

**日時** 7月1日(月)16:30～19:00(予定)  
**会場** 有楽町駅前広場(東京都千代田区有楽町2-7)  
**料金** 無料  
 ※詳細はホームページや法務省保護局公式ツイッターに掲載予定です。  
**HP** <http://www.moj.go.jp/>  
**Twitter** MOJ\_HOGO



## 編集後記

Editor's Note

6月23日～29日は、「男女共同参画週間」。

各所で関連した催し物が開催されます。内閣府でも色々な行事を予定しており、ただいま担当職員鋭意作業中です!まずは、オープニングセレモニーとして、片山大臣による令和元年度男女共同参画週間ポスターの記者発表を行いました。みなさんのお住いの近くでも、男女共同参画週間のイベント等が準備されているのではないのでしょうか。なお、実施内容につきましては、ホームページやメルマガ・フェイスブックなどでも随時ご案内していく予定です。

(編集員さんかさん)

Kyodo-Sankaku

月刊総合情報誌  
「共同参画」6月号

 <http://www.gender.go.jp>

 <https://www.facebook.com/danjokyodosankaku>

第123号 ◆ 2019年6月10日発行  
 編集・発行 ◆ 内閣府  
 〒100-8914  
 東京都千代田区永田町1-6-1  
 内閣府男女共同参画局総務課  
 電話 ◆ 03-5253-2111(代)  
 印刷 ◆ 株式会社ドゥ・アーバン  
 表紙デザイン ◆ 株式会社外為印刷

男女共同参画週間（6月23日～29日）のポスター完成！

男女共同参画

男女共同参画「学」

知る学ぶ考える  
私の人生 私が作る

令和元年度

6月23日(日)～29日(土)

男女共同参画週間

男女共同参画推進本部

内閣府男女共同参画局 ホームページ  
<http://www.gender.go.jp/>

男女共同参画局 Facebook  
<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

男女共同参画週間、詳しくはこちら！

